第15回スマートグリッド特別研究グループ　議事録

【日 時】平成25年3月21日（木）12：00～13：00

【場 所 】名大　ES総合館　ES022講義室

【出席者】仁田旦三(主査・元会長),山本俊二(幹事・元副会長)，舟木剛(委員・A部門)，
浅野浩志(委員・B部門)，馬場旬平(委員・B部門)，小林武則(委員・B部門)，
芹澤善積(委員・C部門)，川上紀子(委員・D部門)，舟橋俊久(委員・D部門)，
佐々木実(委員・E部門)，柴﨑一郎(委員・E部門)，日髙邦彦(東大)，里周二(宇都宮大)，
田中康治（中国電力)，島田敏男(専務理事)，沖健志朗(標準化推進室),和田裕(標準化推進室)

【配付資料】

（資料SG-15-1）　第14回ｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞ特別研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ議事録（案）

【議事】

１．主査挨拶

仁田主査より、電気学会全国大会シンポジウムでの各部門の発表と、活発な議論へのお礼があった。また、この会議が、本特別研究グループの最後の委員会になる可能性もあるので、委員とオブザーバ各位への、全期間に渡る活躍への御礼があった。

２．第14回議事録確認（資料SG-15-1）

山本幹事より、前回議事録（案）を説明、一部修正し承認された。

３．活動の反省と評価

出席委員とオブザーバ各位により、直前に開催したシンポジウムについて、あるいは、この活動全般について、自由に意見を交換した。
シンポジウムの全講演とも、単なる情報収集ではなく明らかに提案が含まれているといえる。
また、電気学会各部門のあり方と、その改善の方向を、スマートグリッドというキーワードを使って議論し、具体的にアクションした活動であったともいえる。
等の意見が出た。

４．特別研究グループの解散について

この特別研究グループは、平成22年5月1日に設置され、活動期間を3年間としている。従い、この特別研究グループは、平成25年4月30日までの任期となり、5月の理事会にて解散審議予定となる。
既に全国大会シンポジウムを2回、一般シンポジウムを1回開催しているが、解散形式については主査と幹事に一任することで今後推進する。

５．今後の運営日程

（１）理事会にて解散報告をし、解散の承認をもらう。（2013/5/9：電気学会理事会）

以上